(一)　第一万五千二百六十八號　臺灣日日新報　昭和十七年九月六日（日曜日）　(昭和十七年五月九日第三種郵便物認可)　(二)

夕刊

臺灣日日新報

九月六日

スターリングラード運命日夕に迫る

獨軍愈よ最後の奪取戰

獨戰車群肉薄

獨軍の重圍に陷る

華北へ南方米初輸入

日本を見直す米英【上】

國民の自戒促すチャーチル

ス市が陷落すれば

ヴォルガ河水運杜絶

ソ聯食糧問題重大危機

東條首相に通電

日本に カンボヂヤ十五萬華僑

ノ軍港危機迫る

ドーヴァー海峡獨英砲撃戰

濠首相危機を強調

生活水準の切詰要求

獨軍ケルチ海峡横斷

タマン半島に上陸激戰

ノ軍港近郊の要地を奪取

愛蘭反英暴動激化

印度問題の發展

新生ビルマ記

獨空軍の活躍

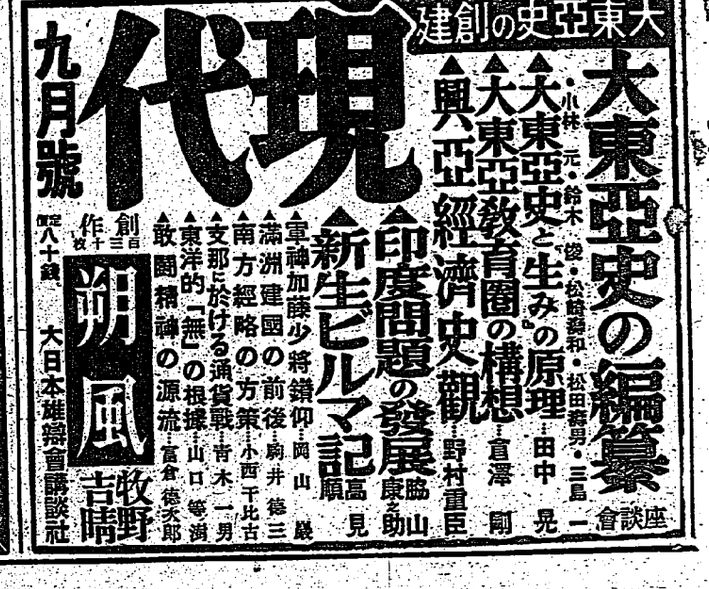
イラン參戰愈よ否定

日本精神を知る

矢野公使東上

獨ソ戰線　沼澤地帶の沼を杭に大砲を積んで進撃する獨步兵部隊

一下痢に
即効を誇るワカ末は
胃腸をとゝのへてもれ
ない仲となりました
胃腸鎮痛鎮痙劑
ホカワ末



狡猾米の魔手逃れ
山を護つた五老樵
田中比島軍最高指揮官　管下巡視迎へ感泣

【マニラ四日發同盟】北部ルソン掃蕩戰の比島最高指揮官田中都吉軍司令官は四日コルデレラ山系を踏破して山岳地帶の奥下部隊に到着したが、部隊に勝つたバギオ市北方四十五粁地點にゲリラ團がマンナンアンの部落に潜伏つたと聞き直ちに攻撃したから敵は山を越えて逃げ去つた、マンナンアンの部落に潜伏する米人の宣教師六人があつた、果たせる哉五人（山口勝中村榮太郎二氏夫妻）發見（山口勝二氏夫人は山口一家のもの）三好文七二氏夫人は山口一家のもの）三好文七二氏夫人は山口一家のもの）三好文七

（第二版）（明治卅一年五月九日第二種郵便物認可）昭和十七年九月六日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万五千二百六十八號　A（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

滿洲建國十周年祝典

滿國空軍の訪日飛行

來る十六日　建軍以來の恩顧謝し

九業種に原價計算　實施

國軍荒鷲の眞價發揚

野口指揮官談

東條首相の感慨

國軍飛行隊生みの親

建國式典に參列者

各界と功勞者發表

政治思想に痛烈批判

獨も日本精神を採用

滿洲國軍の大異動

國軍不動の態勢を確立

外地の特別委員會

協力會議終了後開く

埃及戰線對陣戰

熾烈を極む空中戰

バタビヤ日本色に更生

無血占領早くも六ケ月

森山上等兵二段進級

衞生兵魂"完全發揮

獨軍タマンスカヤ占領

獨空軍英本土襲ふ

地方販賣會社設立

セメント販賣の新機構

インフレ惡化防止

ルーズベルト必死

印度回教徒間に

會議派と提携論

油田防衛線

龜裂を生ず

毛利昌綱（各種團體各種會）ポケット四六版四三〇頁　五百餘頁
大東亞の日常會話
總假名附き
馬來・英・佛・スペイン　四言半句
馬來・英・佛・スペインの四言半句を各々、假名附きで、日常會話に必要な事柄を網羅。
特色　假名は先づ日本語から、本書さへあれば其の國の言語は自由自在、發音本書で其の國の言語を
七ノ五　會和中　東京市京橋區　電四五一三六　東京振替

分十三…はぶっし
ツイラモルデ
打撲　捻挫　神經痛に
特殊の生物學的作用により血壓を下げ熱を去り各部の炎衝を迅速に緩解して痛みをとる評判の三十分濕布藥
原液・筋痛・肩こりにもきく感冒・肺炎・肋膜炎など内臓の炎症治療にも應用される理想的濕布療法です
定價　百匁一四・五百匁三四
製造元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店
發賣元　大阪市東區本町橋　大日本製藥株式會社
販賣元　大阪市東區本町橋　吉田商店

SH—3124
頭痛
ピラゴール
單なる頭痛藥と異なり血管部に對する作用は殊に著明にして血管の病的緊張と昇壓を解き過高血壓を溫和に生理的自然位に低下せしめ……
腦溢血、狹心症
心臟麻痺の危險發作を未然に防止する
大阪・東京・京城　堀野雄商店
二錠　一圓　一〇錠　二・八
三〇錠　へら　地區を除く

整腸と消化
ビオフェルミン
製造發賣元　神戸衛生實驗所
一手販賣元　武田長兵衛商店

社說

石灰原石は島產自給が本筋
曹鹼各社の搬出輕減施設は適切

一

第三國にして十七、八年前迄は石灰原石は殆ど全部と言ふてよい程支那大陸にとうてゐたのであるが、其の後支那側は其の原石を國内で消費するやうにとの方針を採用するやうになつたことである。其處で石灰原石を輸入して居つた國々は、それぞれ其の國内に於て石灰原石を求めるやうに努力し、それに成功したのである。

日本は其の石灰原石を支那大陸から輸入して居つたのであるが、其の輸入量は年々減少の傾向を辿つて來たのである。

二

ところが十七、八年前は支那大陸からの輸入は勿論のこと、其の他からの輸入も困難となつたのである。其の爲めに日本内地に於ける石灰原石の需要は非常に增加したのである。

三

石灰原石は其の性質上、其の產地から遠隔の地に輸送することは經濟的に不利であるから、其の產地の附近に於て消費されるのが最も理想的である。

日本内地に於ける石灰原石の產地は、其の大部分が九州に集中されてゐるのである。

四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

二十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

三十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

四十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

五十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

六十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

七十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

八十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十一

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十二

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十三

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十四

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十五

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十六

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十七

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十八

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

九十九

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

百

石灰原石の產地から遠隔の地に輸送するとすれば、其の輸送費が非常に高くなるのである。

統制會社への權限委讓
速に實行"育成強化"する
現下の重工行政問題 西下した岸商相談

南方ニツケル資源
東邦金屬の將來を見る

島民の負擔輕減へ
行政簡素化で諸團體整理統合

佛印の黃麻栽培現況 (上)
同一作物への協同
狩野氏の努力實を結ぶ

比島内の棉作適地
轉作が可能な甘蔗耕地

米の中間選擧迫る
凄い反ルーズベルト熱

兩協議會に加入
臺灣纖維產業統制方針

馬鈴薯 種薯
臺灣への移入量

髙粱の出荷組合
きのふ設立要綱を決定

貯蓄組合法
十日頃公布せん

島民に率先垂範
官邸の菖蒲園に播種

麻袋等回收配給統制規則
近く府令で公布

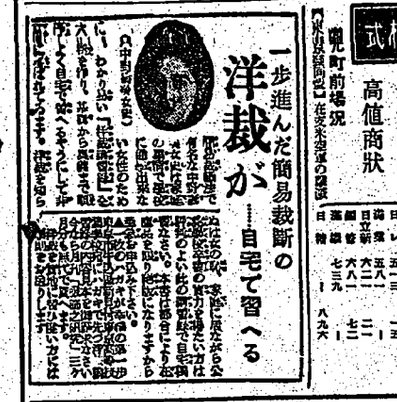
新竹州林產興業株を買收

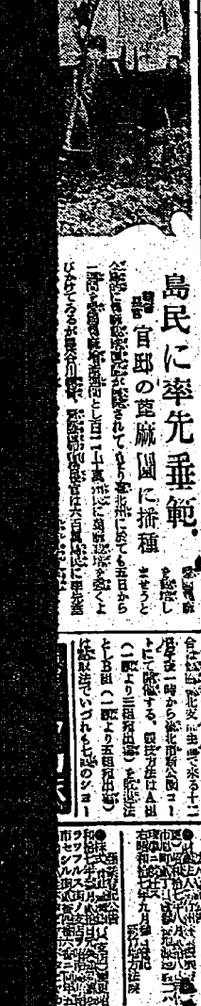
塵芥一日二千貫
嘉義市で家畜飼料に利用計畫

米穀の配給
九月分は現狀通り

商況（五日）

イチジク浣腸
發熱だ！





船員に深き大御心
御救恤金御下賜
畏し・皇恩殉難者に洽し

【東京發同盟】米英の海洋制覇の野望を粉砕し大東亞の新秩序建設の聖戦に殉じた船員の遺族に對する御救恤金の御下賜に關し、内閣總理大臣東條英機は五日左の如き勅語を奉じた

【東京發同盟】米英の海洋制覇の野望を粉砕し大東亞の新秩序建設の聖戦に殉じた船員の遺族に對する御救恤金の御下賜に關し、内閣總理大臣東條英機は五日左の如き勅語を奉じた

絶海の孤島に對敵監視
默々闘ふ燈臺守
待ち憧れるは年一度の〝寶船〟

【東京發同盟】米英の海洋制覇の野望を粉砕し大東亞の新秩序建設の聖戦に殉じた船員の遺族に對する御救恤金の御下賜に關し、内閣總理大臣東條英機は五日左の如き勅語を奉じた

殉國英靈の遺志繼承
遺兒園に首相激勵の訓示

勤勞女性の〝矜〟堅持
臺北州女子奉公會結成式擧行

滿洲國皇帝陛下に
東京市から盆石獻上
建國十周年記念祝典に當り

若き學徒夏の錬成日誌
酷暑も克服 流汗奉仕

川堵國防訓練場建設奉仕　北二中五年　山内德亮記

島民に率先垂範
官邸の苗廐園に播種

學徒に科學知識
新竹州・課外教育として普及

軍人軍屬遺家族慰安演藝會
けふから三日間 島都公會堂に開催

皇奉新竹支部
御庄長錬成會

日婦支部幹部
の中央錬成會

全臺灣卓球選
手權大會開催
十九日北一女に

臺北州下女子
中等庭球大會
新公園コートに

會葬御禮

スターフレックス
(1)ベラックスの設置
(2)出し入れ簡単
(3)上下レンズの好適なるピント
（御注意）
大阪心斎橋西横堀町　上田寫眞機店

強力リベール錠
化膿疾患に

今日の映畫
臺灣教材株式會社

工研酢
工研酢が愈々本月中旬頃ネラ市場ニ出マス筈ノ醸米酢デス御使用願ヒマス
工研食品工場
臺北市大和町三ノ一六番
電話(二)一〇〇番

ジャワ島全圖　スマトラ島全圖
一部各四・五〇
總督府外事部御編纂、他ニ類ヲ見ザル精密地圖、時局下特ニ一般ノ需ニ應ズ
臺北市田山町八六番地
財團法人　南方資料館
振替口座臺灣一〇一七五番
電話(二)八九七四番

前線將兵の氣持で
米の豐作豫想に醉ふな
銃後の守り强化へ邁進

【臺北電話】この分で行けば本年の米作は昭和八年作七千萬石以來の大豐作と豫想されるが、これが農家のほに組しい家作をとるも、敵が降つては敵は出來ないといふが我々は敵を殺らしても大東亞戰に勝ち抜くことを絶對的に要求されてゐる、とどころこの豐しい豫想の前に醉れてゐる、國民總しく戰ひたたかつてゐるのも國からもらふことのみ、それどころかむしろ我々は

【臺北電話】昨日比較的に靜かな戰線のうち續出中の敵軍大部隊のうち約百四十名を數へてゐるが、敵の死體をそこに殘したまゝ逃げ去つたことは自ら認めてゐるところであります、敵の死にはこの兵器を以て

御下賜品拜受の榮
勞務奉公團員から喜びの便り

【臺北電話】昨年比較にならぬ豐作に惠まれて、本島農家は五日五萬石の米穀供出に二萬石を加へて、總供出數は一時から同五萬石を突破する豫想で、農家は一時から同五萬石を突破する豫想で、農家は一時から同五萬石を突破する豫想で、農家